

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

TOKYO自民党は、都議会議員選挙に荒川区でさきやま知尚さんの公認を決定し、必勝を期しています。
さきやま知尚さんは「明日に希望の持てる社会をつくる」と力強く決意を語っています。

明日に希望の持てる社会をつくる

困っている人に寄り添い、
貧しさや孤独に苦しむ人の暮らしを支え、
ふれあいのある輝く東京・荒川にしたい。



自由民主党荒川総支部長・前都議会議員

ちしょう

さきやま知尚さん

～さきやま知尚さんが東京・荒川で実現したいこと～

①荒川区民の命と健康を守ります

新型コロナ入院待機者が必要な医療を受けられる体制とコロナ回復期の病床を確保します。また感染拡大防止や医療・介護従事者すべての安全を守ります。

②新型コロナウイルス緊急経済対策の充実

事業継続のための融資のスピード決済をします。飲食店のテイクアウト等コロナ後の地域経済活性化を支援します。



③元気な老後を過ごすための政策の拡充

高齢者の虚弱(フレイル)診断のための数値化と食事・運動・交流改善のための施策を講じます。



④安心できる子育て環境の整備

多様な保育需要に応えるために、パートタイムや非正規雇用でも預けられる仕組みを作ります。
学童クラブ、放課後子供教室を充実していきます。

⑤将来世代の健やかな成長を図る教育の充実

35人学級に向けて教師確保のための処遇改善と、子供と向き合える環境をつくりまします。
オンライン授業のデジタル教材の充実にも力を入れます。

⑥女性や若者が活躍できる社会に

女性、若者の起業支援のさらなる拡充と結婚・出産・子育て、切れ目ない生活支援の充実をはかります。国の不妊治療の保険適用化に加え、都の上乗せ支援を実施します。

⑦障がい者が安心して暮らすために

障がい者の雇用・就労を促進します(特に行政分野における雇用の拡充)。親亡き後の障がい者グループホームを整備、促進させます。



⑧暮らしやすい安全・安心な地域環境整備

東尾久浄化センターを早期整備し、隅田川の水質改善と尾久の原公園拡張地域に緑と広域避難機能を拡充します。
道路・鉄道駅・心のバリアフリー化を実現します。

⑨大規模な自然災害に強い防災都市づくり

荒川区の約6割を占める木密地域の整備を充実させ、不燃領域率をさらに広げます。災害時の防災生活道路を確保し、尾久ポンプ所を早期に整備します。

プロフィール

昭和40年7月18日沖縄県石垣市生まれ。
九州国際大法経学部卒。
平成5年、荒川区議会議員28歳最年少当選(～4期)、
平成17年、東京都議会議員に初当選、都議会自民党政調会長、東京都警察・消防委員長。地元では区立中学PTA会長、西六囃子連会長等を歴任。
家族：妻、三男。長男・次男の嫁2人、孫2人。
趣味・特技：読書・釣り・映画鑑賞・三味線
座右の銘：近きもの説(よろこ)べば遠きもの来たらん。

みなさまのご意見をお聞かせください



公式ホームページ

<https://www.sakiyama-c.jp>



@sakiyamac

自由民主党荒川総支部長・前東京都議会議員

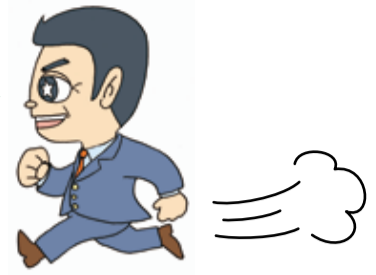
さきやま知尚事務所 〒116-0011 荒川区西尾久3-20-3 2F

TEL.03-3800-7772 FAX.03-3800-8882

2020TOKYOオリンピックを成功させよう!



さきやま知尚さんは 人生をかけて東京・荒川のために働きます!



～さきやま知尚さんの活動実績～これまで実現してきたこと～

1 保育・介護従事者の 処遇改善(量から質へ)

幼児教育の無償化に伴って保育環境の質を担保することが求められています。人材不足が深刻となっている保育士・介護職員のスキルアップのための研修の充実。事業所への助成。職員定着化のための住宅費負担軽減。潜在的職員の復職など、より働きやすい環境の支援をおこないました。

2 幼稚園の預かり保育の 充実

多様な子育て環境に応えるために、働きながら通園できるような仕組みとして幼稚園での預かり保育制度の普及・支援を充実してきました。



3 速やかに災害拠点病院と なる病床を確保

東京女子医大東医療センターの移転に伴い、いざという時に対応するための災害拠点病院の基準病床は200床が必要となります。そのため新病院で240床を確保しました。



4 介護・医療・福祉が連携した 地域包括ケアシステムの確立

『時々入院、ほぼ在宅』切れ目のない在宅医療と在宅介護の多職種連携が必須です。必要かつ求められる介護・医療サービスが受けられる仕組みを求めてきました。

5 非常時に飲料水にも使える 防災深井戸の整備

近年頻発する自然災害から都民を守るため防災都市づくりをさらに加速!

国土交通省と協議し自治体設置の深井戸の整備補助制度をつくりました。荒川区が全国初の事例となりました。



6 都立尾久の原公園運動場の 都費による整備

『旭電化跡地利用計画』は30年余りの間未着手のまま荒地となっていました。ダイオキシン検出問題をきっかけとして、東京都が約2億円をかけ整備し貸し付けることになり、土地の使用料はコインパーキングの売り上げで賄い、区民のみなさまの運動施設として運営されています。

7 東京の都心部の無電柱化 おおむね完了

『東京から電柱をなくします!』をスローガンに。また、防災・安全・景観の観点からも無電柱化を進めてきました。今後は区道の無電柱化を進めます。

8 都民の生活導線に 防犯カメラの設置

町会・商店街の他、新たに公園にも追加補助。犯罪のないまちづくりを進めていくためにも、都はその大きな抑止となる防犯カメラの設置を補助してきました。



9 振り込め詐欺撃退録音機を 全都無償配布

平成27年から振り込め詐欺撃退録音機を65歳以上の全世帯を対象に無償で貸与しました。卑劣な犯罪から高齢者の方々の財産を守ります。



私たちも、さきやま知尚さんを応援します

国や荒川区、区議会が連携してより良い荒川区を目指します!



荒川区長
西川 太一郎



衆議院議員
松島 みどり



東京オリ・パラ担当大臣
参議院議員
丸川 珠代



荒川区議会議員
志村 ひろし



荒川区議会議員
北城 さだはる



荒川区議会議員
斉藤 やすのり



荒川区議会議員
なみき 一元



荒川区議会議員
もぎ 弘



荒川区議会議員
明戸 まゆみ



荒川区議会議員
菅谷 もとあき



荒川区議会議員
中島 よしお



荒川区議会議員
町田 たかし



荒川区議会議員
鎌田 みちてる



荒川区議会議員
どばし けいこ